

つなげよう つながろう ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。

県南双樹会から県北ふたば会へプレゼントされた手作りの人形

- ▶ 伝統をつなぐ～相馬流れ山踊り保存会発足(P2) ▶ ふたばのイトコ再発見!～相馬流れ山踊り(P3)
- ▶ 笑顔の数だけ深まるきずな～県北ふたば会×県南双樹会交流会(P4) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P5)
- ▶ 双葉町ICTきずな支援システムからのお知らせ(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさぼ(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



伝統をつなぐ

相馬流れ山踊り保存会発足

平成28年4月「双葉町相馬流れ山踊り保存会」が発足しました。いわき市錦町で開催された

設立総会では保存会役員を選出が行われ、

「相馬流れ山踊りの継承」「踊り手の育成」を

保存会の目的として活動していくことを

確認しました。

6年ぶりの晴れ舞台

これまでは婦人会を中心に町民有志が集まり相馬野馬追の時期に踊られてきた「相馬流れ山踊り」。双葉町でも毎年7月の三野馬追の際、町民グラウンドで披露されてきました。

南相馬市で「相馬野馬追」が行われる3日間のうち、2日目の本祭りでは、旧相馬藩の各郷が毎年持ち回りで相馬流れ山踊りを披露しています。今年には6年に一度の標葉郷（双葉町と大熊町）担当の年であることが、保存会立ち上げのきっかけとなりました。7月24日（日）、雲雀ヶ原祭場地で双葉町と大熊町合同、総勢80人で相馬流れ山踊りを披露する予定です。



こころをひとつに

各地で練習に励む保存会のみさんへ意気込みを伺いました。

「郷土芸能を絶やすわけにはいかない。7月に向けて体調を整え、元気で前向きな姿を見てほしい。みんなのこころをひとつにし、ふるさとへの想いを込めて伝統の踊りを披露したい」

今後は地域ごとに練習を重ね、6月には双葉町合同練習、その後、大熊町との合同練習を行います。7月、雲雀ヶ原祭場地での晴れ舞台に向けて、各地で喜らす踊り手のみなさんが力を合わせて伝統をつないでいきます。



こちらから「相馬流れ山踊りお手本VTR」をご覧ください。



白河



南相馬



郡山



いわき



郡山

ふたばの
イトコ
再発見!

相馬流れ山踊り

「相馬流れ山踊り」は国指定重要無形民俗文化財の相馬野馬追で「相馬流れ山踊り伝承公開事業」として披露されてきました。振り付けに込められた意味や歌詞に歌われている風景、踊り手の想いを頭に浮かべながらご覧いただくと、よりいっそう流れ山踊りを楽しめることでしょう。



民謡「相馬流れ山」

相馬民謡の代表歌の一つでもある「相馬流れ山」に合わせて踊ります。

相馬中村藩祖が総州から奥州行方に下向した際に、ふるさと「流山」を懐かしく口ずさんだものが、いつしか節となって歌われたという説もあります。もともとは士の間で歌われていましたが、相馬野馬追の際に軍歌として陣中で歌われ、野馬追と共に発展してきました。曲にも歌詞にも格調を持ち、現在の歌詞には野馬追の景観が盛り込まれています。

4種類の踊り

- ①振込み踊り: 野馬を呼び集める様子
- ②鉄扇踊り: 馬上の武士が鞭を振るって荒れ狂う野馬を追い散らす様子
- ③駒返し踊り: 扇を開いて愛馬を呼び返す様子
- ④駒止め踊り: 愛馬に馬柄杓で御神水を与える様子
陣笠、陣羽織、袴など伝統の衣装を身に付け、金色と銀色裏表の扇子、黒柄杓を手に踊ります。もともとは男踊りだったと言われており、地面を蹴るしぐさや洗練された手の動きからは力強さも感じられます。



相馬野馬追で標葉郷(双葉町・大熊町)による相馬流れ山踊りが披露されます。

日時

7月24日(日)
午前中

場所

雲雀ヶ原祭場地
(福島県南相馬市原町区)

詳しくはこちらを
ご覧ください。

相馬野馬追執行委員会公式ホームページ
<http://soma-nomaoi.jp/>





一笑顔の数だけ深まるきずな

県北ふたば会×県南双樹会交流会

5月13日(金)、福島市飯坂学習センターにて、福島市を中心に活動をしている「県北ふたば会」と白河市を中心に活動している「県南双樹会」の交流会が開催されました。参加者の最高齢はなんと96歳！両自治会合わせて約80人が集まりました。

昨年、白河市で交流会が開催された際に「次回は福島でお待ちしています」と語った県北ふたば会会長の鴻崎太郎さん。その言葉通り、今回は福島市で県北ふたば会のみなさんが県南双樹会のみなさんをおもてなしました。

会話が弾む充実したひととき

「短い時間ではあるが、普段はなかなか会えない分楽しんでほしい」「(県北ふたば会会長 鴻崎太郎さん)

「双葉にいるときはすぐに会うことができた。これからも定期的に行いたいので、是非参加してほしい」「(県南双樹会会長 舘林孝男さん)

両自治会長の挨拶の後、お弁当を食べながら、それぞれが近況や双葉での思い出話に花を咲かせます。

「この間、いわきで息子さんに会ったよー！」「みんなで食べるごはんは本当においしいね」

途中、同級生で集まり、学生時代の思い出話を語る場面や、双葉の行事や名所を唄った甚句が披露される場面があり、会場は大いに盛り上がりました。

また、両自治会がそれぞれ持参した、手作りのお土産を手に記念撮影をする光景も見られるなど、笑顔が絶えない楽しい時間となりました。

何かをはじめめるきっかけに

交流会の参加者からは、「双葉にいるときは知らなかった人とも、この交流会で出会い、仲良くなることができた。次も必ず参加したい」「今度、みんなでお菓子を作ろうという話になった」など、今後に向けた言葉が多く聞かれました。

住んでいる地域は違っても、人のつながりが途絶えることはありません。町民のみなさんが作り出した居心地の良い空間は、まるで双葉町のようでした。



オリジナルの双葉甚句を披露



この日の最高齢は96歳！



昭和12年生まれの同級生



昭和15・16年生まれの辰日会



ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



4月20日
男遊クラブ
開講式(白河市)



4月30日
加須市騎西藤まつり(加須市)



4月22日
社会福祉協議会
健康サロン(福島市)



5月12日
双葉町立小学校
ふたば首頭練習会(いわき市)



5月11日
北幹線第二応急仮設住宅
カラオケ会(福島市)



5月12日
初發神社氏子総代の
みなさんによる田植え
(いわき市)



5月19日
白河情報連携会(白河市)

双葉町ICTきずな支援システムからのお知らせ

お知らせ “きずなシステム” 新機能追加のお知らせ

ICTきずな支援システムによるタブレット端末をご利用いただきありがとうございます。

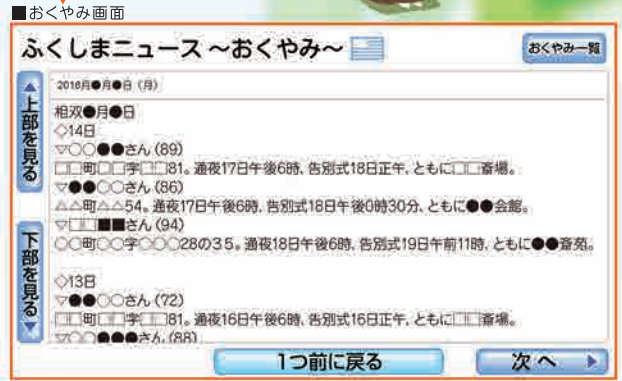
“きずなシステム” の新機能はお使いいただけましたか？

“きずなシステム” は自動的に更新されて新しくなります。電源を切っていると更新されません。**タブレットの電源は入れたまま**にしておきましょう。



新機能！ ふくしまニュース（新聞配信）

タブレットから福島県内のニュースやおくやみ情報が見られるようになりました。記事提供：福島民報社



新機能！ ふたばチャンネル（広報動画）

さまざまな情報を動画でお届けする「ふたばチャンネル」が追加されました。



新機能！ ブログ ふたばのわ

インターネットメニュー内の「双葉町公式 Facebook」が「ブログふたばのわ」に変更されました。各地の交流会や支援イベントのレポートを掲載します。



注目 タブレット“コミュニティ集会”開催のお知らせ

7月より各地でタブレット“コミュニティ集会”を開催いたします。毎月開催しているタブレット個別相談会とは違い、みんなで集まってタブレットを活用しながら楽しく過ごすことを目的としています。詳しい開催スケジュールは、タブレットに配信いたします。みなさんのご参加をお待ちしています！

コミュニティ集会のテーマはこちら！

- きずなシステム新機能の紹介
- 災害時に役立つタブレット使いこなし術
- 「カルタ制作プロジェクト」読み札募集！

タブレットに関するお問い合わせはこちら

双葉町ICTきずな支援システム
運営サポートセンター事務局
(通話は無料です)



0120-916-037

受付時間：平日 9:00～18:00(土日祝・年末年始を除く)

町からのお知らせ

手続き

事業者のみなさまへ 労働保険の年度更新 等のお知らせ

平成28年度の労働保険の年度更新の申告期限は**7月11日(月)**です。

期限までに最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、福島労働局において手続きをされますようお願いいたします。

※労働保険の年度更新は電子申請を、労働保険料等の納付は口座振替をご利用ください。

【問い合わせ先】
福島労働局 総務部
労働保険徴収室
☎024-536-4607

相談

労働困りごと相談会を 開催します

相談無料
予約不要

職場で起きている、賃金や退職、人間関係などに関する困りごとや疑問についての相談をお受けいたします。相談は無料で秘密を厳守します。現地相談会では、労働問題に精通している労働委員会委員が対応します。お気軽に相談ください。

日時：7月3日(日)

■電話相談：午前10時～午後6時
☎024-521-7594 (福島県内全域対象)

■現地相談会：午前10時～午後4時
県南相馬合同庁舎 (福島県南相馬市原町区錦町1-30)
県いわき合同庁舎 (福島県いわき市平字梅本15)
※相談無料・予約不要 (電話予約による時間指定可)

【問い合わせ先】
福島県労働委員会事務局
福島県福島市中町8-2 ☎024-521-7594
✉roudousoudan@pref.fukushima.lg.jp

試験

平成28年度 東北地区国立大学法人等 職員採用試験を実施します

キミのチカラが
東北のチカラ。



試験の日程

受付期間 **6月29日(水)午前10時～7月13日(水)午後5時**

東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会
ホームページ上の受験申込画面からお申込みください。

第1次試験日 **8月21日(日)**

試験内容…**教養試験**(多肢選択式による筆記試験)
試験地…弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市
(受験に便利な1都市を選んでください。)

第1次試験合格者発表 **9月13日(火)午前9時30分**

職員採用合同説明会 **9月21日(水)盛岡、
9月22日(木・祝)仙台にて開催予定**

第2次試験 **9月29日(木)以降開始**

東北地区国立大学法人等各機関にて行います。

【問い合わせ先】東北地区国立大学法人等採用試験事務局
☎022-217-5676(午前9時～午後5時 土日祝除く)
最新の情報は東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会
ホームページでご確認ください。
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/>

受験資格

昭和61年4月2日以降に生まれた者

※受験資格の詳細は
下記ホームページでご確認ください

試験区分

事務系区分 **事務、図書**

技術系区分 **電気、機械、土木、建築、
化学、物理、電子・情報、
資源工学、農学、林学、
生物・生命科学**

※平成28年6月10日(金)現在において採用予定のない試験区分については試験を実施しません。採用予定数は東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページに掲載いたします。



お詫びと訂正

ふたばのわ第31号5ページに掲載しました町内の桜の写真について誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

正

越田共同墓地

誤

⑩渋川墓地



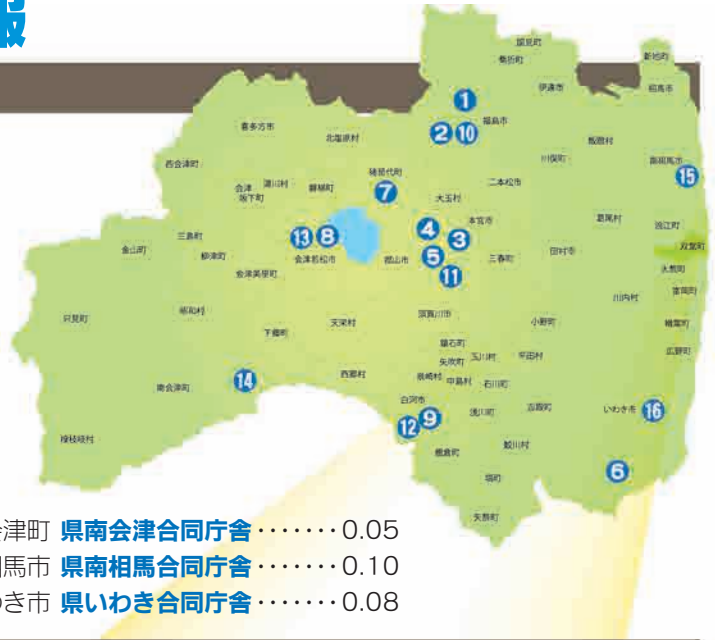
放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成28年5月27日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.08~0.20
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.06~0.09
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.12~0.26
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.07~0.51
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.20~0.23
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.04~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.08~0.08
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.07~0.10
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.11~0.15
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.20
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.13
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.08
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.08

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.10
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.08



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 5月27日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.72
新山	新山公民館	—	0.50
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.47
新山	双葉南小学校	—	0.58
新山	双葉中学校	—	0.26
新山	県立双葉高等学校	—	0.33
新山	中央公園	—	0.63
下条	双葉総合公園	2.60	1.06
下条	双葉町役場	—	0.36
郡山	郡山公民館	1.48	0.60
細谷	細谷公民館	2.31	0.77
三字	三字公民館	2.53	1.06
山田	山田農村広場	24.47	7.73
石熊	石熊公民館	12.10	4.42
長塚	双葉町体育館	6.25	2.24
長塚	長塚二公民館	3.26	1.01

地区	地点	平成24年 4月1日	平成28年 5月27日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.34
長塚	町西住宅	—	0.53
長塚	JAふたば北部営農センター	—	7.32
長塚	双葉北小学校	—	2.13
長塚	ふたば幼稚園	—	1.87
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.50
長塚	双葉町児童館	—	0.39
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.79
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.67
寺松	寺松公民館	3.46	1.41
渋川	渋川公民館	1.48	0.58
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.80
中田	中田公民館	0.77	0.32
両竹	両竹公民館	0.54	0.12
浜野	浜野公民館	0.34	0.09

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

今月号では「相馬流れ山踊り」を紹介しました。各地の練習会にお邪魔すると、扇子の向きや柄杓の持ち方、目線、足の動きなど細かい動きまで丁寧に確認していました。見れば見るほど複雑な踊り…ですが「いったん覚えてしまうと曲を聴けば自然と踊りたくなる」と踊り手のみなさんは話します。

7月の雲雀ヶ原祭場地での晴れ舞台に向けて、伝統の舞を踊るみなさんの表情はとても生き生きと輝いて見えます。日常から少し離れて一時でも「何かに夢中になる時間」を持つことは大事ですね。これからの季節、散歩や庭の草むしり、雨の日は手芸や読書など、みなさんも何かに夢中になる時間を意識して作ってみてはいかがでしょうか。(ふたさぼ 山根)

後世に残したい双葉町

「双葉高校(以下、双高)」が私の思い出の場所です。私は卒業生ではありませんが、自宅が双高のそばにあったので、幼い頃から身近な遊び場でした。

小学生の頃は夏休みに首からカードをぶら下げ、毎朝ラジオ体操をしに双高のグラウンドに通っていました。今となっては、なぜあれほど足しげく通ったのかと思うこともありますが、友達に会えたり、カードがスタンプで埋まることを楽しみにしていたのだと思います。

子どもの頃からバレーボールをしており、その縁で中通りの高校に進みました。しかし、双高に行きたかった時期もあり、夏休みに帰省した際、友人に制服を借りて双高と一緒に写真を撮るなど、少しだけ双高生気分を味わえたことも楽しい思い出です。

